

ソウル清溪川レポート

- 2006.6.6～8 調査



清溪川復元の必要性

安全：高架覆蓋構造物の老朽化



安全問題の根本的解決

環境：都市環境の悪化



環境に優しい都市環境の造成

文化：歴史・文化遺跡の喪失



ソウルの歴史性と文化性の回復

経済：周辺地域の立後れ



長期的周辺開発による均衡発展

清溪川を覆う構造物を撤去して都市河川として復元

同時に周辺再開発を誘導して都心の姿を変える

イ・ミョンバク ソウル市長



ソウル市長 就任演説より抜粋

田舎で夜間課程の商業高等学校を卒業してから、ソウルへ来て、苦学して成長した私が、苦節40年にて、ソウル市長に当選し、この席に立っていると思うと万感の思いです。

私に「一生懸命に勉強を頑張ってもらいたい」と話しながら、ただで本をくれた清溪川にある古本屋の主人や、また、私に、街のお掃除屋さんの仕事を紹介し、

学費と生活費を稼ぐことができるよう助けてくれた梨泰院(イテウォン)伝統市場のお店の方々など、あの方々の助けと支えがあったからこそ今日の私がいるのだと思っています。周りの方々から受けた好意は、いまだに忘れられません。

2002年7月2日

清溪川復元事業は、イ市長の選挙の第一公約であり、選挙戦の大きな争点



「ソウルが21世紀型都市として競争力を確保しようとするならば、都市環境を改善しなければならない。このための具体的施策のひとつが清溪川復元事業である。」

「清溪川の復元は、開発主義から環境主義への都市開発のパラダイム転換の節目である。」

清溪川の変遷(1950年代)



清溪川の変遷(1950年代)



清溪川復元前の状況

清溪高架道路

幅員16m 4車線

交通量 103千台/日

清溪川路

幅員50～80m 6車線

交通量 66千台/日

計

10車線 169千台/日

※交通量は2002年値

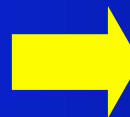


清溪川復元事業(概要)

事業期間 2003.7.1～2005.9.30

事業内容 清溪高架道路の撤去、河川の造成など5.9km

道路構造 10車線 → 4車線(川を挟み2車線づつ)



(清溪川復元基本計画) 河川断面計画

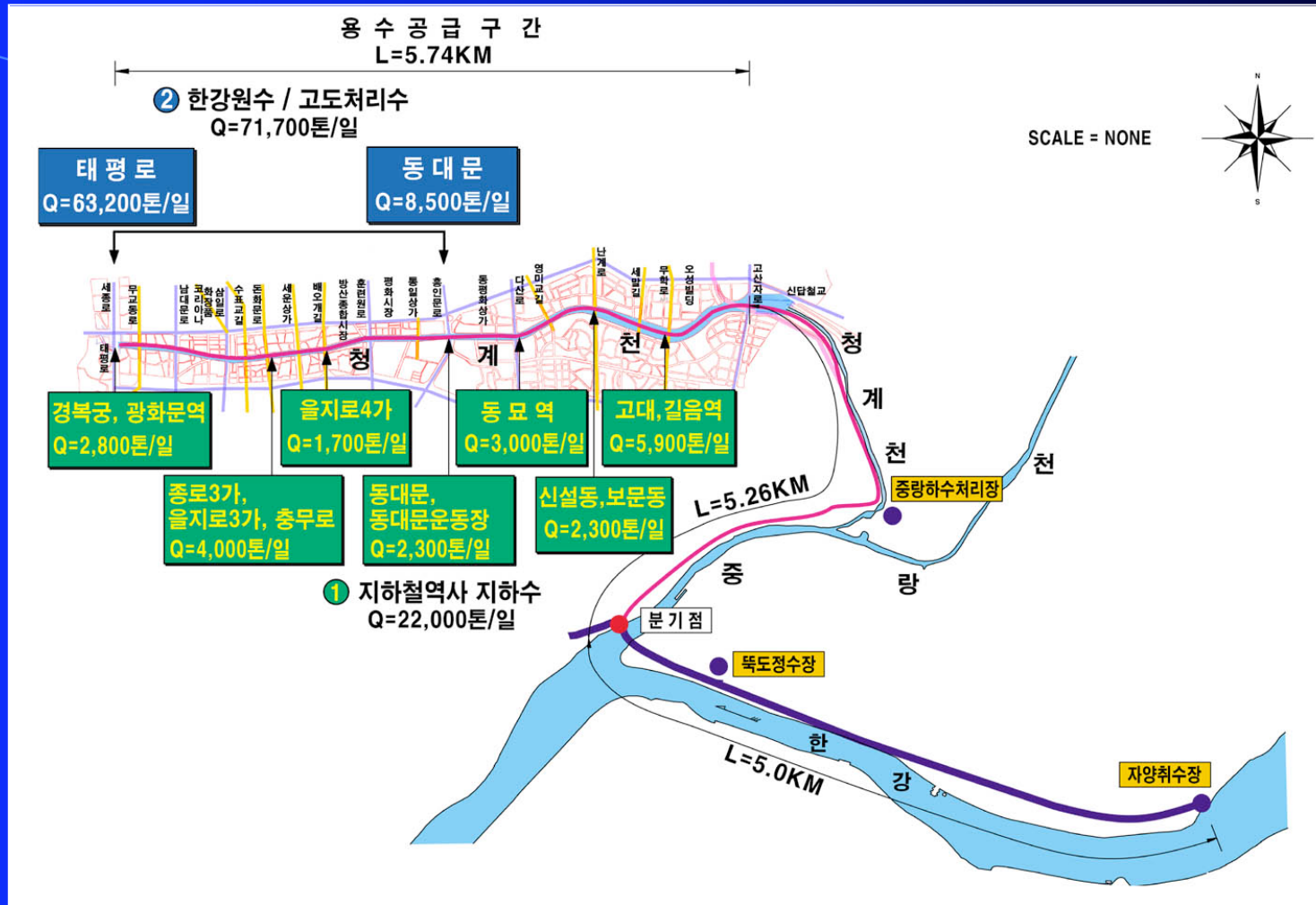
□ 位置図



□ TYPE-4(清溪4街~清溪8街)

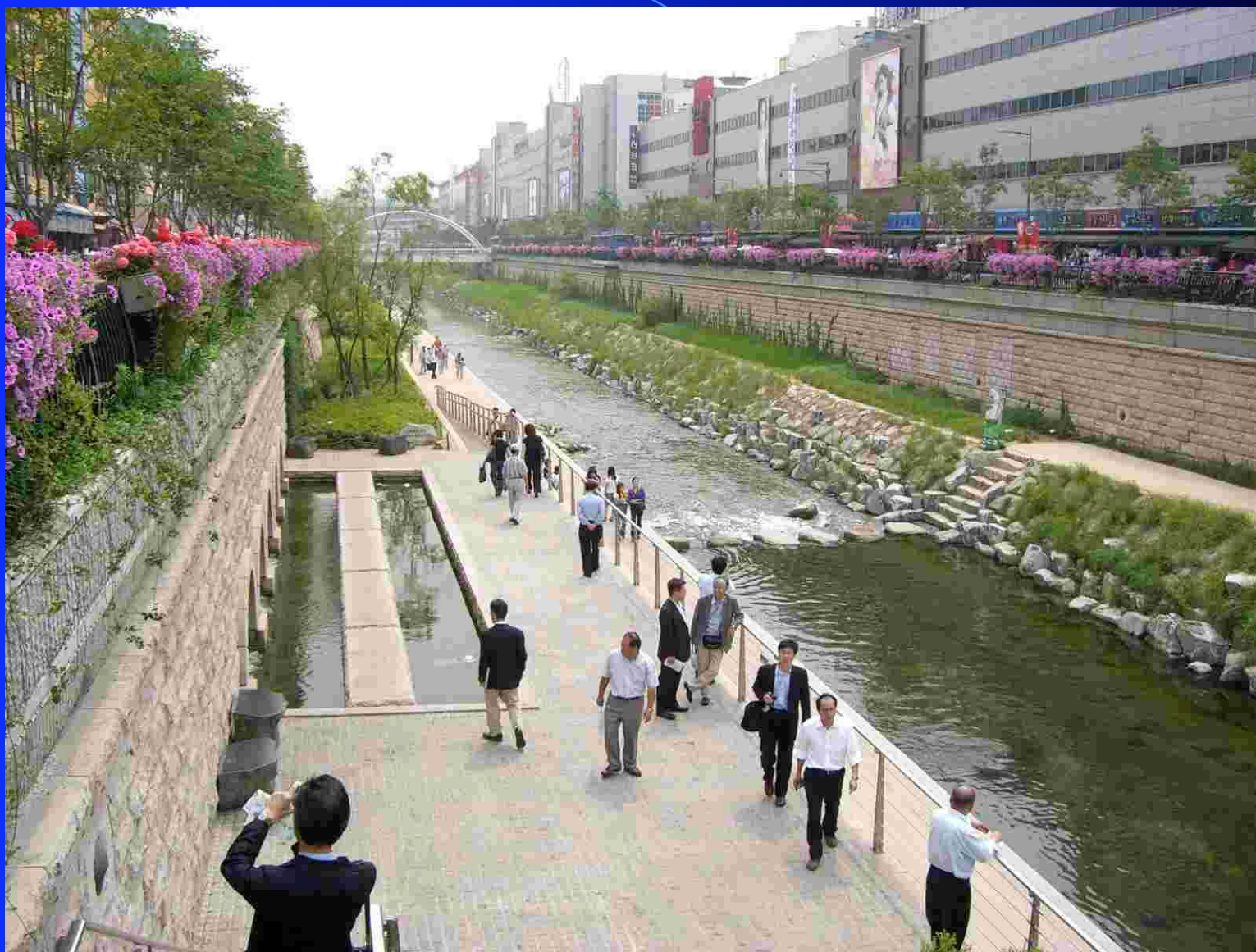


清溪川の水流



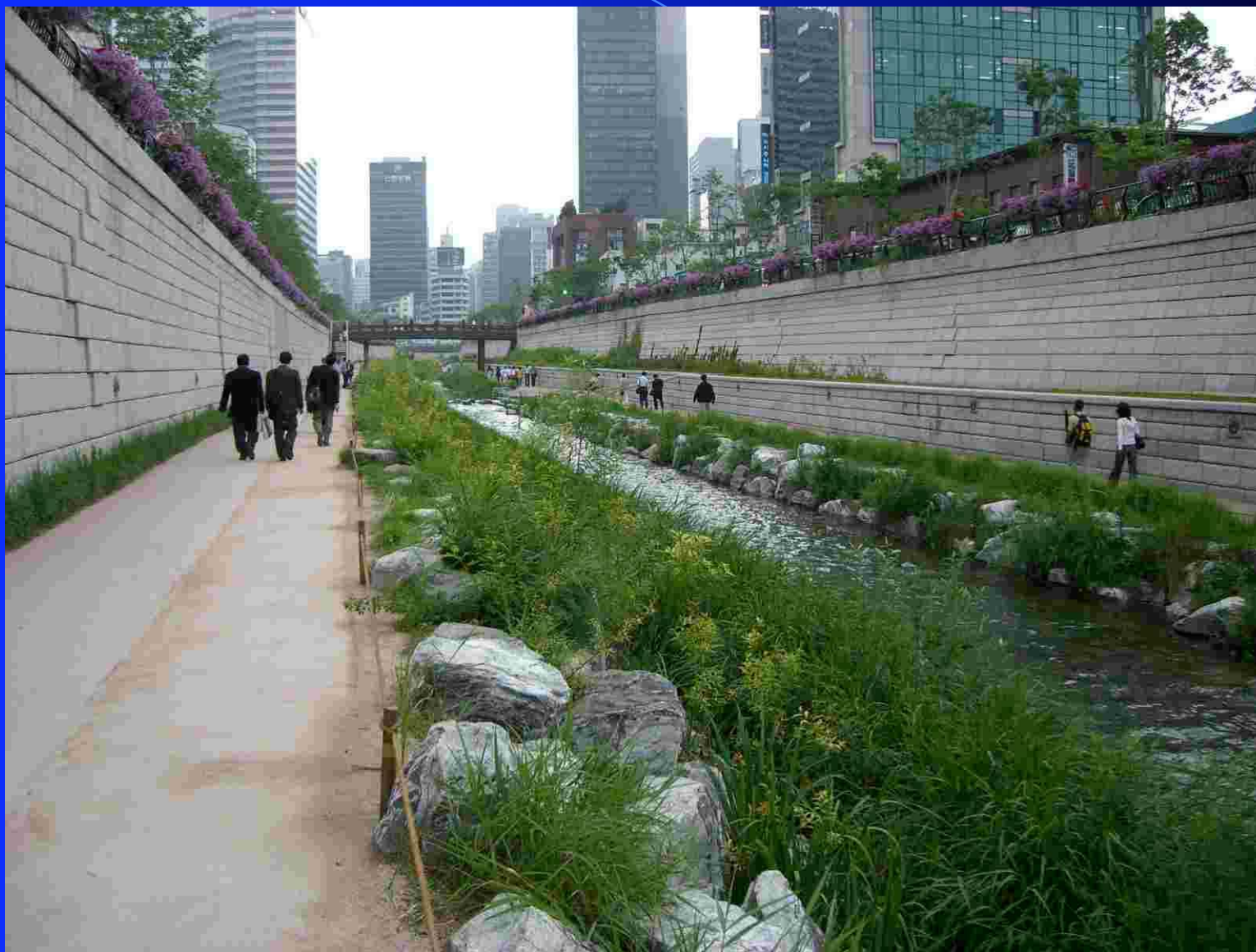
清溪川

- 2006.06.07(水) A.M.11時頃



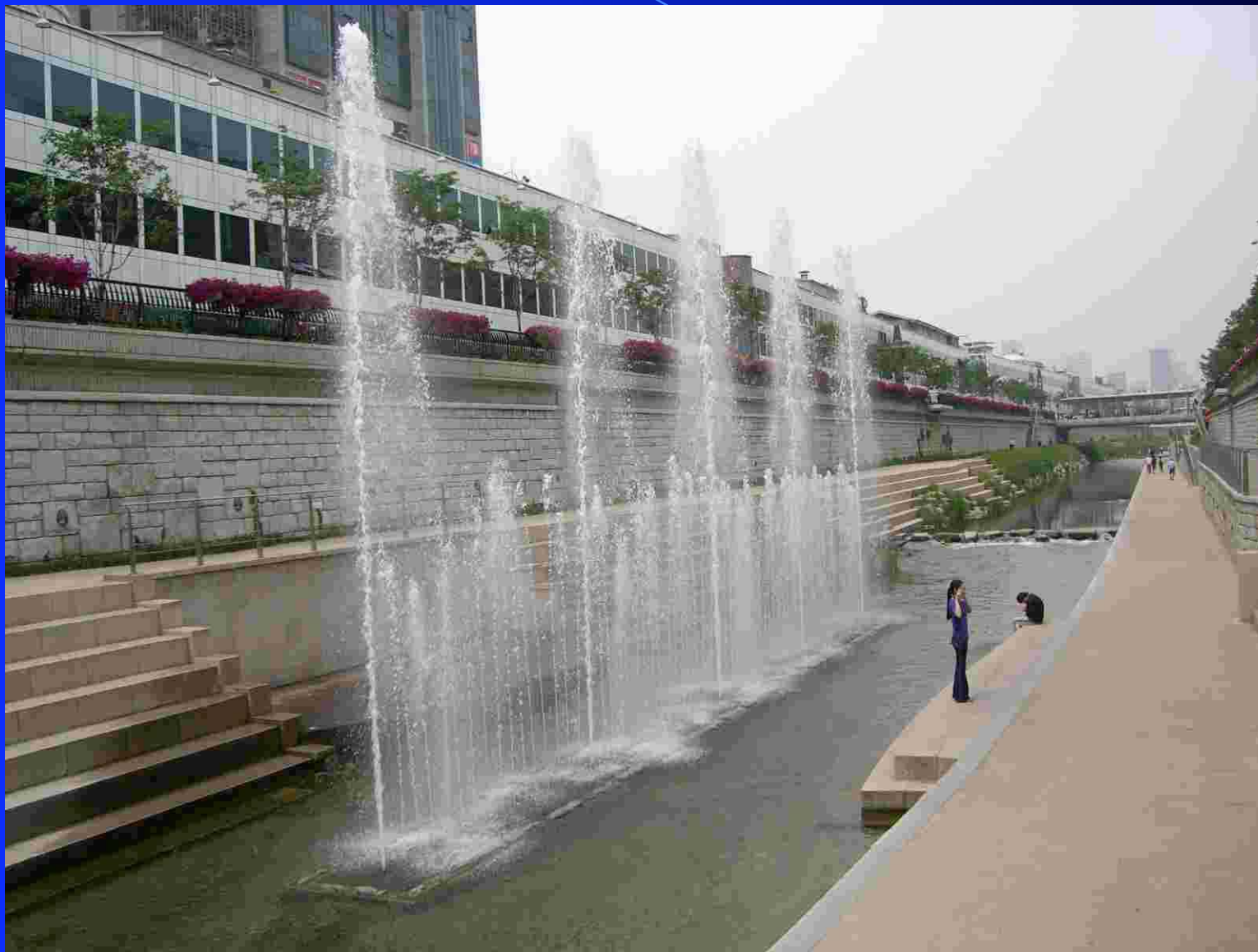
清溪川

- 2006.06.08(木) P.M.6時頃



清溪川

- 2006.06.07(水) A.M.11時頃



清溪川

- 2006.06.06(祝) P.M.8時頃



清溪川

- 2006.06.06(祝) P.M.8時頃



清溪川

- 2006.06.06(祝) P.M.8時頃



清溪川

- 2006.06.06(祝) P.M.8時頃



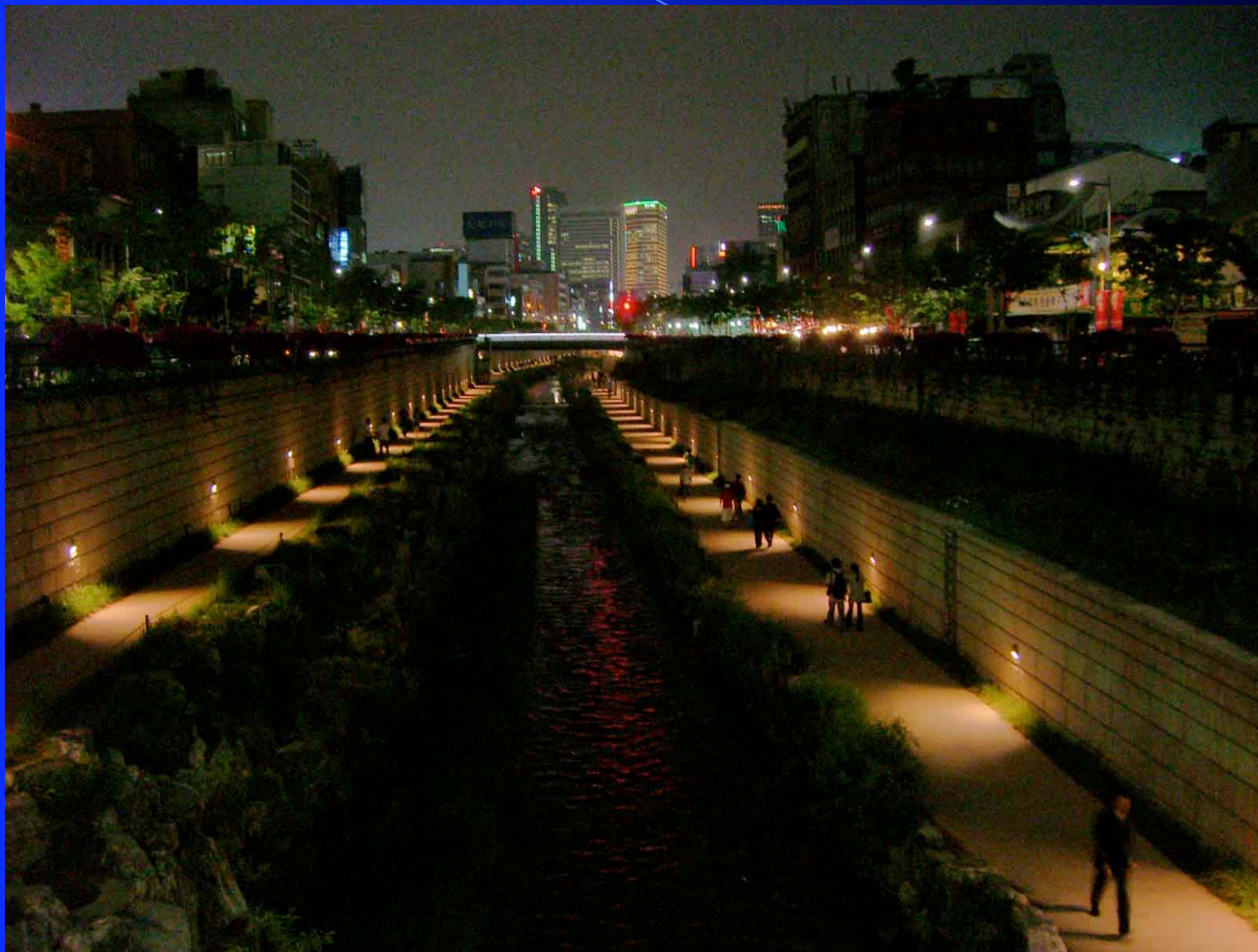
清溪川

- 2006.06.06(祝) P.M.8時頃



清溪川

- 2006.06.08(木) P.M.9時頃



清溪川

- 2006.06.08(木) P.M.9時頃



清溪川

- ソウル市施設管理公団 清溪川コントロール室

